



JAハイナン30周年

30th Anniversary



主力商品である茶の葉を「0」の中にデザインし、
未来へつながるイメージを虹のデザインで表現しました。
「30周年」をシンプルに伝えるデザインです。

ごあいさつ



代表理事組合長
大石 直司

ハイナン農業協同組合は、平成5年3月に3農協（南榛原農協・榛原農協・ハイナン吉田農協）が合併し、本年度30周年を迎えることとなりました。これもひとえに、組合員をはじめ地域の皆さま方の温かいご支援ご厚情、そして諸先輩方の英知と努力の賜物と深く感謝申し上げます。

この30年の農業を取り巻く情勢は、農地面積の減少や農家の高齢化に伴う担い手や後継者不足の問題が深刻化しています。

また、昨今では長引くコロナ禍、ロシアによるウクライナ侵攻、自然災害の頻発・激甚化により今後の農業経営への悪影響が危惧されます。

このような情勢下、当JAでは地域農業を守り、組合員をはじめとする地域住民の皆さまのご期待に沿うべく「生産」・「経営」・「組織」の基盤強化に取り組んでまいりました。

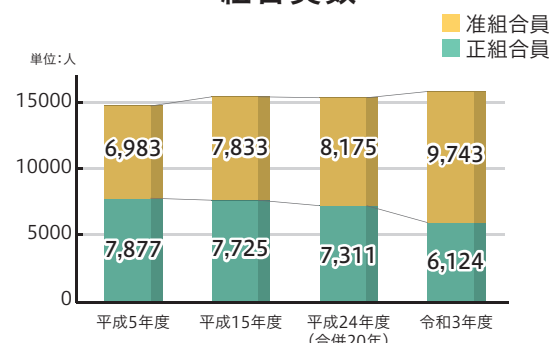
「生産基盤」の強化では基幹作物のお茶で、認証ブランド茶静岡牧之原茶「望」の生産拡大や大手飲料メーカーとの契約栽培などに取り組みました。「経営基盤」の強化では、将来を見据えた店舗再編成や経済事業の収支改善に取り組み、さらに「組織基盤」の強化として、地域の子どもたちに農業に対する理解や親しみを深めてもらう食農教育活動に取り組むなど、不断の自己改革に取り組んでまいりました。

この結果、地域農業振興にかかる先進的なJAとして、令和4年度全中表彰において「優良JA」として評価していただきました。

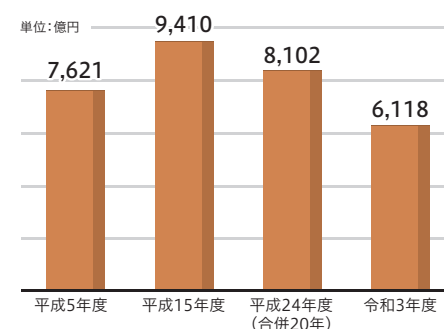
今後も引き続き、JAハイナンは地域になくてはならないJA、また組合員の拠り所となるJAであり続けるために、役職員一同精進してまいりますので、ご支援ご指導を賜りたくお願い申し上げます。末筆になりますが、組合員・地域の皆さまの益々のご活躍を祈念申し上げ、挨拶とさせていただきます。



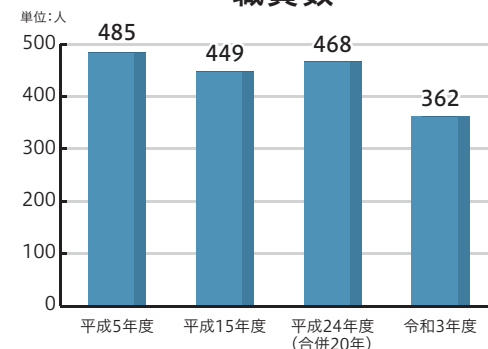
組合員数



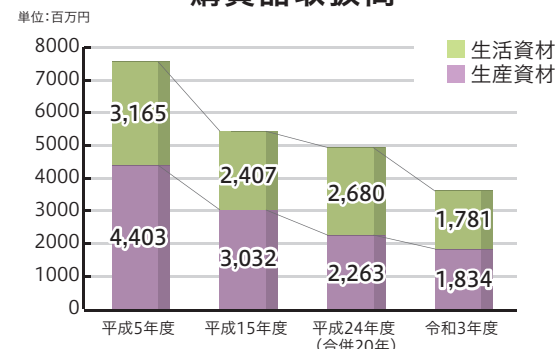
長期共済保有高



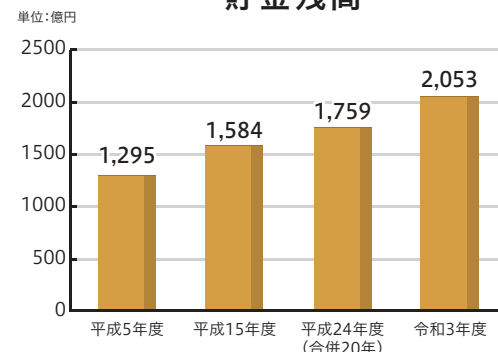
職員数



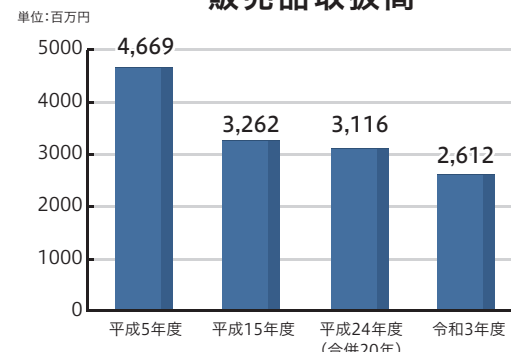
購買品取扱高



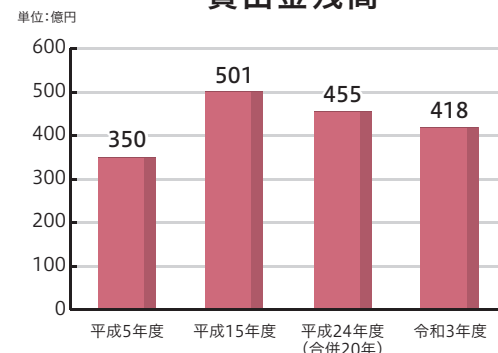
貯金残高



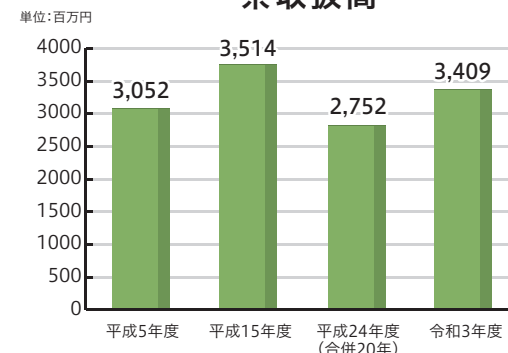
販売品取扱高



貸出金残高



茶取扱高



経営理念

私たちは、組合員の拠り所となる組織であり続けるために、

一. 絶えず「農業の未来」を考え行動し、農業を振興します。

一. 満足度の高い事業を展開し、組合員と職員の幸福を追求します。

行動指針

1. 人間形成をするために

- ① 熱意を持つ
- ② 正しい考え方を持つ
- ③ 利他の心を持つ
- ④ 素直な心でいよう
- ⑤ 純粋な心でいよう
- ⑥ 常に謙虚で誠実でいよう
- ⑦ 感謝の気持ちを持つ
- ⑧ 常に明るく積極的に行動しよう
- ⑨ 地道な努力を積み重ねよう

2. 最高の仕事を実践するために

- ① ベクトルを合わせよう
- ② スピード感を持つ
- ③ 前例打破し常に創造的な仕事をしよう
- ④ 率先垂範しよう
- ⑤ 売上最大・経費最小を常に考え、採算性の向上に努力しよう
- ⑥ 信頼関係を築こう
- ⑦ 反省して仕事を振り返り改善しよう
- ⑧ 1対1対応の会計原則を守ろう
- ⑨ ダブルチェックでミスをなくそう



1993

平成5年

- 3月 JAハイナン 開所式
- 4月 合併記念式典
JAハイナン青壮年部発足
JAハイナン婦人部(現:女性部)発足
- 11月 第1回農協祭



JAハイナン 開所式

1994

平成6年

- 4月 第1回JAハイナン通常総代会

1996

平成8年

- 10月 JAハイナンホームページ開設



JAハイナン青壮年部発足

1997

平成9年

- 10月 JAハイナン年金友の会第1回グラウンドゴルフ大会
- 11月 農協設立50年・JAハイナン合併5周年記念式典



JAハイナン婦人部(現:女性部)発足

2001

平成13年

- 3月 みかん選果施設竣工・光センサー選果機導入

2002

平成14年

- 4月 白羽・相良・榛原・吉田
4 営農経済センターオープン
- 12月 榛原給油所セルフ化オープン



榛原給油所セルフ化オープン

2004

平成16年

- 2月 茶業部(現:茶業センター) ISO9001取得

2005

平成17年

- 3月 茶業センター「茶ぐりん牧之原」竣工



茶業センター「茶ぐりん牧之原」竣工

2006

平成18年

- 4月 牧之原市献上茶謹製事業
- 6月 白羽支店(現:御前崎支店)竣工
- 1月 相良支店竣工



静岡牧之原茶「望」ブランド立ち上げ

2007

平成19年

- 4月 静岡牧之原茶「望」ブランド立ち上げ
- 11月 ファーマーズマーケット「ほうせん館」
グランドオープン



ファーマーズマーケット「ほうせん館」
グランドオープン

2009

平成21年

- 7月 勝間田支店竣工
- 10月 牧之原市内の全小学5年生を対象にした闘茶会
第1回TEAHERO選手権開催

2010

平成22年

- 9月 住吉支店竣工
ライスセンター竣工
- 2月 地頭方支店竣工

2011

平成23年

- 3月 静岡牧之原茶「望」
第1回しずおか食セレクションに認定
- 10月 細江支店(現:榛原支店)竣工



JAハイナン合併20周年記念式典

2012

平成24年

- 4月 相良営農経済センター(現:西部営農経済センター)敷地
内に調理研究室完成



第73回全国茶品評会
深蒸し煎茶の部 産地賞受賞

2013

平成25年

- 4月 nozomiガールNEedデビュー
- 10月 JAハイナン合併20周年記念式典



牧之原市献上茶謹製事業

2014

平成26年

- 5月 ファーマーズマーケット「ほうせん館」来館100万人突破
- 8月 第68回全国茶品評会 深蒸し煎茶の部 産地賞受賞

2016

平成28年

- 12月 ファーマーズマーケット「ほうせん館」来館150万人突破



5 JA事業連携協議会ファーマーズマーケット
事業連携調印式

2017

平成29年

- 4月 萩間支店竣工
榛原料理教室竣工

2018

平成30年

- 9月 農業経営事業開始



国産農林水産物等販路多様化緊急対策事業を
活用し、北海道・東北地方の小学校に茶を寄贈

2019

平成31年

- 8月 第73回全国茶品評会 深蒸し煎茶の部 産地賞受賞

2020

令和2年

- 4月 牧之原市献上茶謹製事業
5 JA事業連携協議会ファーマーズマーケット事業連携調印式
吉田支店竣工
- 6月 国産農林水産物等販路多様化緊急対策事業を活用し、
北海道・東北地方の小学校に茶を寄贈
- 3月 茶集出荷貯蔵施設竣工



本店集出荷場竣工

2021

令和3年

- 11月 本店集出荷場竣工



JAハイナンLINE公式アカウント開設

2022

令和4年

- 7月 総合営農アドバイザー「Foad」誕生
- 8月 JAハイナンLINE公式アカウント開設

未来への期待

地域に求められる
サービスを目指して



J A ハイナンは相互扶助の精神のもと、様々な事業や活動を総合的に展開し、

農業所得の向上・地域農業の発展・地域社会の活性化に貢献していきます。



営農経済

営農経済事業は、営農指導・購買事業が連携し、4つの営農経済センターが地域密着を目指し、管内の農業振興に積極的に取り組んでいます。

営農指導事業においては、担い手や生産者組織と連携した品目別チームにより、主幹作物である茶をはじめ、レタス等の秋冬野菜、果菜、果樹、花き等、管内主要品目の産地振興を図ります。また、担い手への農地集積、茶園転換畑地化等による新規複合作物提案、後継者育成、総合営農アドバイザーによる営農支援、農業労働力確保支援など、生産基盤の強化と農業所得向上に取り組めます。

購買事業においては、生産資材の安定供給と価格低減、営農経済センターや農機具センターの運営体制整備に取り組むとともに、組合員・地域住民のニーズに対応した生活購買事業を展開していきます。

また、J A の経営基盤を支える組織である青壮年部では、食農教育活動や農業経営力向上活動、女性部では若い世代を含めた仲間づくりの推進や地域貢献活動など、組織活動の活性化に努めています。



金融



組合員・地域利用者の将来の夢や希望の実現に向けて、一人ひとりのニーズに寄り添った「相談・提案」を行い、農業所得向上・満足度向上を目指し、金融仲介機能の発揮に取り組んでいます。

さらに、ライフイベントに適した商品・サービスの提案により「つかう・ためる・ふやす・そなえる・のこす」といったライフプランサポートを実践していきます。

また、マネーローンダリング・特殊詐欺への対策やシステム化による事務効率の向上、人材育成など内部管理態勢の強化に努めています。

流通販売

流通販売事業は、販売推進課・特販課・茶業センターが連携し、生産者・顧客満足度アップを意識した販売機能強化に取り組んでいます。

販売推進課においては、生産者の所得向上と消費地に信頼される産地を目指し、マーケティングアドバイザー（MA）を中心に青果、花きの市場流通販売強化を図ります。

また、畜産事業では、畜産物の安定供給のため防疫体制の強化を図ります。

特販課においては、農産物を量販店等へ直接販売することにより、生産者の所得向上を図るとともに、ファーマーズマーケット「ほうせん館」では、新鮮でおいしい農産物の販売を行っています。

茶業センターにおいては、静岡牧之原茶「望」を前面に打ち出し、活気あるPR活動を展開、若年層への緑茶の新しい提案も踏まえた、ECサイト（インターネット通販）による販売強化を図るとともに、大手ドリンクメーカーとの契約栽培にも取り組み、ペットボトル茶等のドリンク茶需要に対応していきます。



共済



共済事業はJ A の総合事業の強みを生かし、金融、経済部門との連携を強化し、真にお客様に『寄り添う』相談型の訪問活動を実践していきます。組合員・利用者のライフプラン実現に向けた複合的な提案活動に取り組み「ひと・いえ・くるま」の総合保障を提供し将来にわたって選ばれ続けるJ A を目指します。

また、将来起こりうる地震や風水害などの自然災害や交通事故に備え、組合員・利用者の視点に立った事業展開を図るとともに、J A の事業活動を通じ、農業振興・地域社会づくりへの貢献に取り組めます。



女性部長
増田 すみ江

このたびは、合併30周年を迎えられ、心よりお慶び申し上げます。

今日まで幾多の先人たちが築いて来られた礎とご尽力に敬意を表するとともに、いつの時も常にそこにJAハイナンを想う組合員の支えがあったからこそ現在に至っているのだと強く感じております。

コロナ禍に見舞われた2年間の活動は自粛や中止を余儀なくされましたが、「コロナ禍だからこそ出来ることを」とウォーキングをしながらゴミ拾いを行うプロギングやフードドライブなどのSDGs事業にも取り組みました。

地域の垣根を越えて部員同士が笑顔で仲良く活動出来たことは女性部の絆を今迄以上に深めたのではないかと自負しております。

太陽のように明るく地域を元気にし、ひまわりのように優しく人に寄り添える女性部であり続けていきたいと思っております。

どうか今後とも女性部を温かく見守っていただけましたら幸いです。



茶業振興委員会委員長
不知 浩之

今現在、肥料・農薬など生産資材だけでなく、燃油・ガス・電気といったエネルギー価格も高騰し、農業を取り巻く情勢は、これまで経験したことのない激動の時代に突入しています。私たち農業者は不安を感じざるを得ません。

離農が進む中、近頃は「食料安全保障」という言葉も多く聞かれます。

刻一刻と変わりゆく情勢の中、私たちは何を思い、どう実践していっていいか。それぞれが経営理念のもと、多くの情報から選択し、決断していきます。絶えず「農業の未来」を考え、農業を振興したい、未来へつなげたいという思いは、私たちとJAハイナンで一致しています。今後

もより一層強固なパートナーシップを構築していく必要があります。ともに考え、新しい農業を切り拓くことができるよう、常に前向きに頑張っていきましょう。問題は山積みですが、力を合わせ、一つ一つ乗り越えて行きましょう。JAハイナン30周年、おめでとうございます。



花卉委員会委員長
藪田 昌也

JAハイナン合併30周年、おめでとうございます。

花卉委員会としてのこの10年間は、榛南地域のブランド化を目指し、良いものを安定的に出荷することに尽力してまいりました。

その結果、花き市場においても、他地域からも認められるブランド化に成功したのではないかと思います。

これからもブランドイメージを守り、安定的に生産を続けていくには、高齢化問題と後継者問題は避けて通れません。高齢化に対応するためには、効率化や省力化の設備投資が必要です。また後継者の育成は、当然、我々農家の跡取りの問題ですが、地域として法人化等の取り組みも検討していく時期なのかもしれません。ますますJAには期待するところが大きいです。燃料や資材の高騰、市場価格の低迷等まだまだ厳しい時期が予想されますが、我々農家とJAが更なる団結で乗り越えていきたいと思っておりますので、今後も御指導お願いします。



青壮年部長
赤堀 久人

この度はJAハイナン合併30周年、誠にありがとうございます。日頃、農業経営に対して多大なご尽力をいただいていることに感謝を申し上げます。昨今、社会情勢が目まぐるしく変化する時代が訪れ、新たな

情報をいち早く取り入れ、即座に対応しなければならない時代となったのではないのでしょうか。この地域には茶価の低迷や農家の減少など、まだまだ多くの課題があります。この30周年という節目を迎え、私たち農業者と共に、改めて農業者の所得向上、ハイナン管内の農業の発展を第一に考えた施策・対応を、率先して行動に移せる組織になることを期待しています。



レタス委員会委員長
鈴木 孝明

JAハイナン合併30周年にあたり、心よりお慶びを申し上げます。また、この30年の諸先輩方のご労苦により今我々の農業があることに感謝いたします。

さて、この30年で世界の経済や人口、自然環境などの世情は目まぐるしく変化し、その変化は我々の農業にも大きく影響してきています。レタス生産者においても、昨今の肥料や資材等の高騰、異常気象、新型コロナウイルスの影響による需要の減少など、厳しい農業環境にさらされています。

今後も厳しい農業環境が予測されますが、当地域の農業活性化のために、JAハイナンにはますますのご尽力をいただけますよう、期待を申し上げます。レタス委員会としては、ハイナンの豊かな大地と先人達が築き上げたハイナンレタスのブランドに感謝し、今後も安心安全で新鮮なレタスづくりに取り組んでまいります。JAハイナンには変化や挑戦を恐れない積極的な活動で、販売事業や営農指導などの強化を通じて、我々と共に当産地の維持・発展にご協力をお願いいたします。



ほうせん館出荷者協議会会長
吉村 英治

合併30周年、お慶び申し上げます。まずは、先人・仲間達の継続的な活動に敬意を表します。

さて、「ほうせん館」も15周年を迎え、4月下旬にリニューアルオープンします。リニューアルに向けて多額の投資をしていただきました。この大きな決断に心から感謝申し上げます。

期待に応え、「ほうせん館」を長く営業していく為に、一出荷者として「より良い農産物」を出荷する気持ちを強く持ちたいと思います。

また、出荷者協議会役員として出荷者の皆さまの意見をよく聞き、反映させる仕組みを作り、「小さな事」「出来る事」からPDCAサイクルを実行していきたいと考えています。

「ほうせん館」を未来永劫続けるために、私たちは今、種を蒔く時期だと思います。どんな花を咲かせるか、どんな実を实らせるか、皆で話し合っていきます。

皆さまからの小さな改善点や思いついた提案をお待ちしています。

JAハイナン「ほうせん館」の10年後に期待します。

JAハイナン!「前へ」!!

JAハイナンへの期待 ～30周年に寄せて～



元 常務理事
山下 太市

平成5年3月に榛原南部地域の3JAが合併してJAハイナンが誕生し30周年を迎えられました事にお慶びを申し上げます。

この30年間、農産物の安全安心対策、気象災害対策、東日本大震災にかかる風評被害対策、令和に入ってからコロナ禍のなかでの事業対策、最近ではウクライナ侵攻や大幅な円安による原材料費の高騰対策など、地域農業を守るため組合員の皆様の協力を頂きながら役職員一体となった事業活動がなされてきたことに対しまして敬意を表します。

農業構造が大きく変化して基幹作物であるお茶は依然として低迷し続けており、JAを取り巻く環境は益々厳しさを増しております。そのなか今後とも相互扶助の精神のもと、地域に根差し組合員及び地域農業を守るための事業展開が図られますと共に、JAハイナンがより一層発展されますことと役職員の皆様方の益々のご活躍を心より御期待申し上げます。



前 代表理事組合長
紅林 茂

JAハイナン30周年、誠にありがとうございます。この日を迎えられましたのも、合併以来の組合員・地域の皆様のご協力そして役職員の弛まぬ努力の賜物であり敬意を表します。昨今では新型コロナウイルスの蔓延、ウク

ライナ侵攻からの第三次世界大戦の危機と物価高など私達の不安は増大するばかりです。また、農業・農協を巡る情勢は一段と厳しくなっています。特産品の茶の消費の減退、他の農畜産物の売上も減少していると聞いています。そして何よりも農家の減少、農地の荒廃化は死活問題と言えるでしょう。しかしこういう時こそ「ピンチをチャンス」に変え、JAの力の見せどころです。第1に静岡牧之原茶「望」以上の新商品の開発、新作物の導入です。そのための投資と人材の確保は惜しんではならないと思います。第2にいくらAI時代とは言え人間社会です。コミュニケーションに重きを置いた販売戦略が必要です。相手先JA、市場との信頼性を勝ち取ることが重要と考えます。

これからのJAハイナンが地域とともに発展する事、役職員の皆様の更なるご活躍をお祈りしています。



元 常勤監事
中嶋 均

JAハイナン合併30周年を迎えることにお慶び申し上げます。

近年、超低金利時代に対応するために、店舗再編成を決断され、特に組合員の協力に敬意を表します。そして役職員の努力の結果

と思われま

す。茶価低迷が続き、ウクライナ侵攻の影響を受け、原油・肥料等の高騰と農業経営に苦難が続きますが、組合員に密着して諸問題に対応する事が望まれます。

JAハイナンの特徴としては、組合員及び地域住民との距離が近い事が長所であり、店舗数の減少により長所が失われないように、地域に根ざした活動が、より一層求められます。

JAハイナンの、益々の発展と役職員の活躍を期待します。





ハイナン農業協同組合

本店	〒421-0422 牧之原市 静波 73-5	☎0548-22-8000
茶業センター茶ぐりん牧之原	〒421-0407 牧之原市 布引原 884	☎0548-27-1001
御前崎支店	〒437-1622 御前崎市 白羽 3521-28	☎0548-63-2395
白羽営農経済センター	〒437-1622 御前崎市 白羽 3521-28	☎0548-63-6190
地頭方支店	〒421-0532 牧之原市 地頭方 86-1	☎0548-58-0621
相良支店	〒421-0522 牧之原市 相良 339	☎0548-52-0281
西部営農経済センター	〒421-0514 牧之原市 菅ヶ谷 872-2	☎0548-53-2020
西部農機具センター	〒421-0514 牧之原市 菅ヶ谷 872-2	☎0548-53-2022
萩間支店	〒421-0504 牧之原市 黒子 188-1	☎0548-54-0321
榛原支店	〒421-0421 牧之原市 細江 4260-1	☎0548-22-0750
東部営農経済センター	〒421-0422 牧之原市 静波 73-5	☎0548-22-9529
中央給油所	〒421-0422 牧之原市 静波 73-5	☎0548-22-9533
東部農機具センター	〒421-0422 牧之原市 静波 73-5	☎0548-22-9531
予約配送センター	〒421-0402 牧之原市 勝間 570-3	☎0548-28-0227
勝間田支店	〒421-0402 牧之原市 勝間 570-3	☎0548-28-0211
ほうせん館	〒421-0421 牧之原市 細江 1986-1	☎0548-24-1177
ハイナンステーション	〒421-0421 牧之原市 細江 1986-1	☎0548-22-3420
吉田支店	〒421-0303 吉田町 片岡 2153	☎0548-32-1121
吉田営農経済センター	〒421-0303 吉田町 片岡 2153	☎0548-32-1125
吉田給油所	〒421-0303 吉田町 片岡 2153	☎0548-32-1124
住吉支店	〒421-0301 吉田町 住吉 2039-1	☎0548-32-0115
こすもす榛南セレモニーセンター	〒421-0422 牧之原市 静波 73-5	☎0548-22-7111